



国際ロータリー第2660地区

地区委員会  
活動計画書

1991～'92年度

ガバナー 菅生浩三

1991年 7月 13日(土)  
於：新阪急ホテル



自分を

超えた

眼を

*Look Beyond Yourself*



Raja

ラジェンドラ・K. サブー  
R.I. 会長

# 目 次

扉

目 次

プログラム

合同地区委員会開催に当たって	ガバナー 菅生 浩三	5
地区ガバナー指名委員会		8
意義ある業績賞委員会		9
<b>クラブ奉仕部門</b>		
会員増強委員会		10
広報・雑誌委員会		11
規定情報委員会		12
<b>職業奉仕部門</b>		
職業奉仕委員会		13
<b>社会奉仕部門</b>		
社会奉仕委員会		15
ボランティア活動委員会		17
環境保全委員会		18
<b>青少年奉仕部門</b>		
青少年活動委員会		20
ローターアクト委員会		21
インターアクト委員会		24
<b>国際奉仕部門</b>		
世界社会奉仕委員会		26
青少年交換委員会		27
国際交流・平和委員会		32
<b>ロータリー財団部門</b>		
ロータリー財団委員会		34
財団奨学金委員会		35
財団増進委員会		37
財団学友委員会		38
研究グループ交換委員会		40
<b>米山奨学部門</b>		
米山奨学委員会		42
<b>拡 大 部 門</b>		
拡 大 委 員 会		45
ロータリーの友		46
財 務 委 員 会		48
地 区 大 会		50



国際ロータリー第2660地区  
1991～'92年度 合同地区委員会

プログラム

1991年7月13日(土) 登録 9:30～

会場：新阪急ホテル 2階 紫の間

進行：地区代表幹事 土井正裕

- |             |  |                                       |
|-------------|--|---------------------------------------|
| 10:00       | 開会・点鐘<br>ロータリーソング「奉仕の理想」                         | ガバナー 菅生浩三                             |
| 10:05～11:45 | 本会議<br>就任挨拶・参加者紹介<br>退任ご挨拶<br>委員会本年度の方針と活動       | ガバナー 菅生浩三<br>直前ガバナー 廣瀬勲一郎<br>各委員会 委員長 |
| 11:45～12:45 | 休憩・昼食  |                                       |
| 12:45～14:15 | 本会議<br>委員会本年度の方針と活動                              | 各委員会 委員長                              |
| 14:15～14:30 | 休憩   |                                       |
| 14:30～15:25 | 本会議<br>委員会本年度の方針と活動<br>地区資金の運用について<br>地区年次大会について | 各委員会 委員長<br>財務委員長 西田文明<br>委員長 鴻池藤一    |
| 15:25       | 閉会の挨拶<br>ロータリーソング「手に手つないで」                       | ガバナー 菅生浩三                             |
| 15:30       | 閉会・点鐘  | ガバナー 菅生浩三                             |

## 合同地区委員長会議開催に当って

ガバナー 菅 生 浩 三

1991～'92年度のR I テーマ及びラジェンドラ・K・サブー会長のご方針並びに第2660地区の活動方針につきましては、4月27日の次期地区委員長会議と5月18日の地区協議会の席上で発表させて頂きましたが、新しい年度の発足でございますので、委員長はじめ各委員の皆様方にご理解を深めて頂き、各委員会のご活動の活性化をはかって頂きますために、要約してご説明をさせて頂きたいと存じます。

本年度のR Iのテーマは、「自分を越えた眼を」でございます。英文では「Look Beyond Yourself」であります。このテーマは、私どもが真の意味における「他者への奉仕」に到達するための基本的な前提として、ラジェンドラ・K・サブーR I会長によって私どもに要請されました。同会長は、私どもすべてが自らの心の底を見つめるとき、自我を超えた無私の内なる力、自分を越えた眼を持つ力を持つことに気付くものであり、この自分を越えた眼こそ、社会への夢と使命感の自覚を通じて、真の奉仕の理想の実現へと私どもを導くものであると述べていられ、さらに、そのような眼は、達成すべき目標の設定とその実現に必要な行動へと私どもを導くものであると指摘されました。具体的には、(1)クラブ奉仕の部門では、親睦、増強その他の委員会活動への積極的参加によってクラブを善への効果的戦力とすること、(2)職業奉仕の部門では、四つのテストとロータリアンの職業宣言により、個人的にまたクラブとして他の人々の物心両面に互る生活の質の向上は勿論、職業指導や失業対策、職業活動面でのボランティア活動への参加などを推進すること、(3)社会奉仕の部門では、ローターアクト、インターアクト、ロータリー村落共同隊、ロータリアンの家族などの協同奉仕とともに、人間尊重、環境保全、地域発展、薬物濫用防止、高令者への奉仕、機能的文盲への教育、地域的規模及び世界規模の飢餓の終結などに関するプログラムを計画して実施すること、(4)国際奉仕の部門では、ロータリー財団の支援をはじめとして、世界社会奉仕、青少年交換、ロータリー友情交換、世界親睦活動などのプログラムを推進して参加することなどの一般的諸活動も、自分を越えた眼で見つめ直すとき、さらに一層の活性化がはかられると述べられるとともに、「われらの天体、地

球の保全」(Preserve Our Planet Earth)なる地球環境保全問題を、前年度から引続き本年度も最重要プロジェクトとして継続して推進される旨を述べていられます。

私は、このようなR Iのテーマとラジェンドラ・K・サブー会長のご方針を踏まえ、当第2660地区における本年度の運営の基本方針を、ロータリー活動の一層の活性化をはかることにおき、その要点を次の諸点において参りたいと存じます。

1. まず、ロータリーへの理解をさらに深めて頂くこと。

ロータリー活動の一層の活性化は、私ども会員の一人一人がロータリーの存在意義自体にかかる根本的な理解と認識とをさらに一層深めることから始まるものと考えます。

2. 次に奉仕活動の現状について十分な認識を共有して頂くこと。

ロータリー活動の一層の活性化は、私ども会員の一人一人が、地区内外は勿論、さらに広域的規模で行われている各種奉仕活動の現状と実態について、具体的でかつ正確な認識を共有して頂くことによって裏付けられるものと考えます。

3. さらに、奉仕活動の現在及び将来のあり方について、検討と準備に着手して頂くこと。

ロータリーの一層の活性化は、私どもを取巻く社会的諸環境が地球的規模で急激に激変しつつある今日の社会の実態に則し、私どもの奉仕活動がこれを充足しこれに即応できるように必要な検討と準備にすることによってのみ、その存在意義と将来が約束されるものと考えます。

私は、以上の運営方針に基づき、地区の諸活動全般の活性化をお願い致しますとともに、就中次の諸点の推進に一層のご尽力を賜りたいと存じます。

1. ロータリー情報、就中ロータリーにかかる基本的理解を深め奉仕活動の現状認識の充実ははかり、その目的に資するため、地区規定情報委員会に卓話銀行を、また地区広報雑誌委員会にビデオ・スライド銀行を各設置してその運営を実施すること。

2. 会員数3%の純増と退会の防止、就中会員数が50名に満たないクラブの増強を実現すること。

3. 少なくとも2クラブを拡大すること。

4. 対外広報活動を活性化すること。

5. 下記諸活動の継続的实施をはかるとともに、地域の古来のまた新しい社会的諸問題に外部意見を交えて地域的規模の総合的検討を加え、新規プログラムを発見し推進するた

めに、地区社会奉仕委員会に地域対策室を設置してその運営を行うこと。

## 会員委員会 記

- ① 違法駐車追放その他の職業奉仕活動
  - ② 心身障害者及び高齢者その他の人間尊重プログラム
  - ③ 地域の発展にかかるプログラム
  - ④ 地域環境及び地球環境の保全及び改善
  - ⑤ ボランティア活動の推進
  - ⑥ ローターアクト、インターアクト、ライラその他の青少年奉仕活動
6. 世界社会奉仕、青少年交換、国際交流、平和プログラムを充実し、ロータリー友情交換及び世界親睦活動の推進に着手すること。
  7. オランダ国際大会への参加を促進すること。
  8. 前年度に引続き、ロータリー財団への寄付1人あたり100\$の目標額を達成するとともに、シェア・システムの実施に伴う支援の強化並びに奨学生の派遣と受入及び資金の利用にかかる具体的方法を策定して実施すること。
  9. 研究グループ交換の受入の充実をはかること。
  10. 米山奨学部門を独立部門としてその活動を強化し、寄付1人あたり18,000円の目標額を達成するとともに、寄付の増進と制度のあり方にかかる検討に着手すること。
  11. ロータリー財団及び米山奨学会の学友組織の整備と強化を行うこと。
  12. 各種月間の活動を充実すること。
  13. RI会長の意義ある業績賞及び地区表彰に積極的に対応すること。
  14. 各種クラブ委員長会のあり方を検討すること。
  15. ガバナー月信の改善に努めること。

地区の各委員会におかれましては、すでに本年度の活動にかかる方針を樹立されていることと存じますが、適確な充実した委員会活動の実現をはかるため、委員間のコミュニケーション及び情報の交換を深めて頂き、円滑な委員会の内部運営と組織の活性化に努めて頂きますとともに、地区内各ロータリークラブの関係委員会との積極的なコミュニケーションの維持と相談及び助言などの調整に努めて頂き、地区全体としての奉仕活動の充実と活性化にご尽力を賜りたいとお願い申し上げます。

## 地区ガバナー指名委員会

委員長	廣瀬 勘一郎 (大阪西南)	委員	中村 俊一 (東大阪)
委員	原田 秀雄 (大阪北)	同	中西 正二 (大阪西)
同	伊藤 恭一 (大阪)	同	坂東 宏 (吹田)
同	伊瀬 芳吉 (池田)	同	松本 良諄 (大阪東)
同	種田 憲次 (大阪住吉)	同	古田 敬三 (大阪)
同	戸田 孝 (八尾)	同	武尾 敬之助 (大阪西北)
同	世戸 一夫 (大阪難波)		

- 1) 地区ガバナー指名委員会規約に基づき、ガバナー月信2号において、1993～'94年度の地区ガバナー・ノミネー候補者の指名案を各クラブより提出するよう要請し、その最終期限を9月末日とする。
- 2) 10月1日以降、出来るだけ早く指名委員会を開き、候補者の指名を行い、ガバナー月信6号乃至7号で公示し、7号乃至8号でガバナー・ノミネーの宣言を行う。

## 意義ある業績賞委員会

委員長 廣 瀬 勘一郎 (大阪西南)

委員 古 田 敬 三 (大 阪)

同 武 尾 敬之助 (大阪西北)

- 1) ガバナー月信 2 号において、選定基準と委員会に関する発表を行い、申請期限を 10 月末日とすることを公示する。(申請手続きについては手続要覧 42～43 頁参照)
- 2) 12 月 1 日までに選考委員会を開催し、5 クラブまでを限度として、受賞クラブを選び、ガバナーに送達する。
- 3) 各ロータリークラブに対して、幅広い奉仕活動の実践につき積極的に申請することを勧奨する。

## クラブ奉仕部門

担当パスト・ガバナー 廣瀬 勘一郎(大阪西南)

### 会員増強委員会

委員長	和田 俊一(大阪平野)
委員	八田 昌三(豊中南)
同	山本 三雄(大阪大淀)
同	大津 久直(大阪東淀)
同	中西 敏明(吹田西)
同	山崎 啓一(大阪平野)

会員増強は、ロータリー活動の重要な柱の一つであり、会員増強なくしてロータリーの発展は無いと言われている。各クラブは、それぞれの実情に応じた最も有効な計画をたて、菅生ガバナーが示された本年度運営の要点に則って一人一人が奉仕の精神をしっかりと見極め、誠実な人を選び、そして奉仕の現状について認識を十分深め、積極的に会員の増強に努められたい。

1. 会員増強意欲の盛りたてをはかり、各クラブで会員増強推進フォーラムを企画・実行していただき、当地区目標を純増3%増(拡大を除く)におく。
2. 会員歴5年以上の方でまだ一人も推薦されてない方には是非一人は推薦していただく。また会員歴の短い方も増強への手順を十分知っていただくよう努力されたい。
3. 会員50名未満のクラブの増強を前年に引き続き重点的に推進する。またその具体策を検討する。
4. 各クラブの会員増強の実態を調査し、減少クラブは退会者の在籍年数をまとめ、原因を究明、退会防止に努める。
5. 充填及び未充填分類表に基づいて積極的に、増強計画をたてるよう引き続きお願いする。

## 広報・雑誌委員会

委員長	足達忠利(吹田)	〔ビデオ・スライド銀行〕
委員	福西幸夫(大阪心斎橋)	委員 中村 覚(大阪北)
同	木戸栄久(大阪)	同 清野耕作(茨木)
同	田中経久(大阪東)	同 新田久治(大阪中央)
同	小松陽一郎(大阪阪和)	
同	竹田正司(大阪心斎橋)	

広報活動は、本年度も、ロータリーを外部の人達に広報するのを主といたしますが、対内広報活動も積極的に行うつもりです。

「ロータリーの友」をもっと“読んで”いただくために、地区内ロータリアンの声を「友」委員会に報告する。

### 活動計画

1. 8月上旬(予定)に、在阪主要新聞、放送、通信社の幹部とガバナーとの懇親会を開催。
2. 毎月一回、「ロータリー・広報ニュース」を発行し、上記主要マスコミ各社、雑誌社に送付し、ロータリー活動を知らせる。またロータリーの各奉仕活動プログラムの内容も併せて説明し、広報に務める。
3. 本年度に設置予定の「ビデオ・スライド銀行」の活動内容について、各クラブに周知させ、かつ利用促進をはかる。
4. 「ロータリーの友」英語版を、各クラブの海外姉妹クラブに地区より送付し、日本のロータリーの現状の一端を知らせる。

なお、送付回数、方法などは、地区予算額の範囲内で行う。

## 規 定 情 報 委 員 会

委員長 大 西 淳 (大阪平野) [卓話銀行]  
委員 三 宅 謙 伍 (大阪平野) 委員 稿 本 崇 志 (大阪北)  
同 水 山 章 (大阪堂島) 同 伊 藤 徳次郎 (吹 田)  
同 坂 本 好 男 (大阪阪南)  
同 赤 根 賢 治 (大阪阪和)

- 1) 地区内各ロータリークラブに対するロータリー情報提供「システム・マニュアル」活用によるロータリー情報の系統的かつ継続的提供の勧奨。特に拡大・増強に際し入会前の会員候補者に対する絶対必要な基本情報の徹底と、それに対する賛同の確約をお願いしたい。
- 2) 情報提供の機会として、例会時の5分間情報、行事月間、フォーラム、インフォーマル・ミーティング、あるいは会報の利用などがあるが、特に本年度は「卓話銀行」を新設してロータリアン及び非ロータリアンのうちから適切優秀な卓話候補者を依頼、候補者名簿を各クラブに送付し、ゲスト卓話の必要時には、それにより適切な候補者を選んで直接連絡依頼されるよう担当部会を設置した。
- 3) 本年度は1992年1月21日より24日までカリフォルニア、アナハイムにおいて規定審議会が開催される立法年度にあたる。申すまでもなく、われわれの定款・細則はここで作られ変わり、組織としての特質も、広範囲な方針の変更も可能であり、団体としての意志表明もされるという決しておろそかにできない重大な意味をもつことを各クラブ、ロータリアンは再認識されるとともに、当委員会としては審議会日程に従い関連情報の伝達に努めるとともに、本年10月及び来年3月に説明会の開催を予定している。

## 職 業 奉 仕 部 門

担当パスト・ガバナー 中 西 正 二 (大阪西)

### 職 業 奉 仕 委 員 会

委員長 北 村 巖 (大阪梅田)

委員 則 尾 誠 一 (大阪城南)

同 浅 沼 清 太 郎 (大 阪)

同 大 木 令 司 (茨 木)

同 大 谷 國 明 (大 阪 東)

同 山 田 重 迪 (大阪梅田)

同 松 本 進 (大 阪 南)

同 山 田 潤 太 郎 (大 阪)

#### 1. 基 本 方 針

(1) 職業奉仕についての理解をさらに深めていただく。

職業奉仕は、ロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕し(綱領第2)、R I・クラブなどはこの理想を鼓吹育成するにある(綱領前文)。

このように、職業奉仕の実践は職業活動に従事するロータリアン各自のみがなしうるもので、クラブ等の団体がなしうるものでない。

クラブ等の団体は、このロータリアン個人の職業奉仕の実践を鼓吹育成することができるだけであり、また、それをすべき任務を負っている。

1987年のR I理事会で採択された職業奉仕の新方針に基づく、クラブ活動としての4つの小委員会プロジェクトは、社会的ニーズやR Cの活動としての適否からみて実施可能と思われるのは、4つのテスト推進・職業情報・職業活動表彰である。

(2) 奉仕活動として、本年度は、1990～'91年度地区大会において「地域社会の職業代表人として職業倫理の昂揚を掲げるロータリアンは、その先達として会員及び会

員の属する団体や企業のマイカー通勤や業務用車持帰りを自粛することを提唱し推進することによって、違法駐車問題の解消など難問解決に挑戦すること」を決議しており、現実に問題となっているこの「違法駐車」解消の問題を介し、職業道德の向上を通じ社会奉仕することをめざしているロータリアン各自の職業倫理をより高めることに努める。

会 員 委 員 奉 業 勤

## 2. 活 動 計 画

クラブ会員の職業道德を高めるため、以下のような活動を実施するよう推進する。

### (1) 卓 話

- ロータリーでの職業奉仕の意義  
職業奉仕の新方針および職業宣言（決議89～148）を含む。
- 会員各自の職業について
- 違法駐車についての専門家の話

### (2) 会員の事業所見学

### (3) 職業活動表彰

### (4) 4つのテスト推進

### (5) ケーススタディ（クラブフォーラム利用）

「違法駐車」について

### (6) 「違法駐車」問題解消のため、「違法駐車」追放キャンペーン活動などに積極的に取り組む。

以 上

# 社会奉仕部門

担当パスト・ガバナー 松本良諄(大阪東)

## 社会奉仕委員会

委員長	新津敬直(大阪西)	[地域対策室]	
委員	吉山公(大阪中央)	委員	平川恵一(大阪北)
同	亀井龍彦(大阪阿倍野)	同	岡本克持郎(大阪城東)
同	福田守(大阪阪和)	同	埜田孝文(大阪北)
同	木下久則(交野)	同	谷口勉(大阪難波)
同	芝盛久(箕面中央)	同	村岡大輔(大阪西)
同	新堂庄二(大阪西)	同	山中文和(ガバナー・ノミニ-大阪南)
同	堀訓也(大阪心斎橋)	同	北村巖(職業奉仕委員長)
同	浅野宜春(大阪なにわ)	同	小山隆三(ボランティア活動委員長)
		同	岡部次郎(環境保全委員長)
		同	西正中(青少年活動委員長)
		同	目幸等僊(ローターアクト委員長)
		同	和田健(インターアクト委員長)

### 本年度の方針

社会奉仕活動はロータリーの原点であり、Give and Takeを考え、ロータリーの精神にもとづき活動を実践する。

他委員会の御協力により、縦割りから横割りも考えて行きたい。

前年度よりの引き継ぎ行事は各RCの賛同を得て、完璧を期したい。

### 活動計画

#### 1. 高齢者問題

- 高齢者に対する社会奉仕活動のマニュアル
- 老人ホームの種類・施設

- 高齢者雇用の促進（定年延長）

- シルバー人材センター

大商シルバーセンター

高齢者雇用助成金（安定所）

以上の紹介

- S（シルバー）& C（チャイルド）行事を実施。海遊館への招待（高齢者・孫・嫁など三世代交流）
- 13回目の「高齢者の声」作文募集・実施（市内38RC）
- 府下に対しては、大阪府地域福祉推進財団と次年度実施にむけて交渉する。
- 美しく老いる為のインフォメーション。（会員・家族・地域住民）

## 2. 地域社会への奉仕活動

- 地区内あらゆる対象施設

- 自殺防止センター

- ライトハウス

以上の紹介

- 里親及び父子家庭への問題提起
- 第8回身障児等白浜招待旅行の実施

昨年度より招待児とロータリアンとのコミュニケーションを計ったが、不十分だったので、本年度は特に事前・事後の交流を徹底的に実施する。

## 3. アンケートにより本年度の社会奉仕事例集を作る。

### 地域対策室

地域内の各種社会問題（人間尊重関係・地域社会の発展・地域環境関係・地球環境関係）に対する奉仕活動の充実と効果的な実施をはかるため、地域対策室を設置する。

### 活動内容

- 地域内における各種社会問題の原因の調査、現状の把握、対策の策定を行う。
- 地区の職業奉仕、ボランティア、環境保全、ローターアクト・インターアクト、青少年奉仕の各部門の委員会と連携をとり推進する。

- 地区各ロータリークラブ、地区内行政機関、及び公私の関係団体と連携をとり推進する。

## ボランティア活動委員会

委員長	小山隆三(大阪阪南)
委員	四碓行雄(大阪阪南)
同	寺井種伯(大阪天満橋)
同	北浦信行(高槻東)
同	杉本久仁一(八尾中)

当委員会は3年間の実験的プログラムであり、1991～'92年度はその最終年度に当る。初年度では、地区内各クラブに於けるボランティア活動の実状を知るためアンケート調査をおこなうと共に、ボランティアビューローに就いての認識と啓蒙をはかった。本年度は、各クラブに対しそのテリトリー内にボランティアビューローの設立の勧奨に努めたが、残念乍ら未だ設立は見られないものの、1～2のクラブの中(例、城東RCではクラブ創立20周年記念行事として検討中)でその気運が見られるので、更に勧奨に努力したい。

一方近時ボランティアを必要とするケースは多いが、ボランティアをおこなう人が減少の傾向にあり、ビューロー設立に若干の危惧を抱く所である。そこで地区内ロータリアンの中でかくれた個人として乃至クラブとしてボランティア活動に取り組んでいられる方々に対し、地区として顕彰することを当年度の事業計画として取りあげてみたい。

## 環境保全委員会

委員長	岡部次郎(箕面)
委員	遠藤涉(大阪)
同	藤江正謹(大阪阪和)
同	南克昌(大阪南西)
同	室木啓一(池田くれは)
同	浜谷利一(東大阪)
同	北野武治(門真)
同	近藤雅臣(千里)

当委員会も設置2年目に入ります。初年度は急遽の設置で、些かスロースタートになりましたが、担当松本PGのご指導のもと、委員相寄り活動計画を立案。10月には各クラブの環境保全委員長会議を開きました。

コスタRI会長が掲げられた「われらの天体・地球の保全」というテーマは、地球規模の環境保全問題であり、概念としては理解出来ても直ちに具体的活動に結びつくものではなかった。そこで先づは環境問題についての「意識の昂揚」に重点を置き、その上で身近な実行可能なことから「実践」に移していただくよう各クラブにお願いした。最初の一年、殆どのクラブで、またI.G.F.で環境問題を話題に取り上げられ、各クラブ独自の活動をしていただきました。

さて委員会も二年目に入りますので、初年度の活動をふまえた上で、下記のように委員会活動を推進したいと考えます。

### 記

◎委員会としては昨年同様、画一的プロジェクトを各クラブに押しつけないで、それぞれのクラブの状況をふまえた自主的活動をお願いする。ただし昨年度以上の実質的な活動を期待する。

◎昨年度各クラブで実践された活動と、新年度の活動計画の中から他のクラブで参考になる事例をまとめて情報提供をする。

◎年度の比較的早い時期にクラブ環境保全委員長会議を開催し、年度内の活動についての参考にしていただくと同時に、緑化推進委員会も本年は当委員会に吸収されたことをも含めて、「知識としての環境問題」から「環境改善への実践」へとウエイトを移していただくことを強く要請する。

◎地区組織として社会奉仕委員会に「地域対策室」が設けられたことを受けて、当委員会にも新しく対応しなければならない問題が発生すると思われる。これについてはその都度対応を協議してゆきたい。

◎I.G.F. 或はクラブより当委員会に対して要請がある時は、可能な限り協力をする。

◎上記各項の他、ガバナー、担当パストガバナーのご指導に従い、適宜積極的対応を進めてゆく。

委員会活動計画を達成するために、委員会内でそれぞれの分掌を定め、ゆきとどいた効果的な活動を進めたい。

# 青少年奉仕部門

担当パスト・ガバナー 戸田 孝(八尾)

## 青少年活動委員会

委員長 西 正中(大阪城北)

委員 近藤 力(東大阪中)

同 高萩 弥太郎(大阪柏原)

同 江原 雄二(大阪西南)

同 北田 他実夫(高槻東)

同 桂 知良(大阪城東)

同 対馬 祥全(茨木東)

青少年奉仕はじっくりと取り組まなければならない活動で、これまでに積み重ねてこられた青少年奉仕の活動を続けていくことを原則とします。

### 1. ライラ RYLA (青少年指導者養成セミナー)の実施

青少年の参加者が100名を超えるまでになり、参加青少年にはかなりのインパクトを与えています。例年の通り秋と春の2回実施します。

① 山のライラ ホスト：高槻東RC

1991年9月21日～23日 大阪府立青少年野外活動センター(能勢町)

② 海のライラ ホスト：大阪城東RC

1992年5月3日～5日 大阪府立青少年海洋センター(岬町淡輪)

### 2. 少年少女ニコニコキャンプの実施

一昨年度から再スタートしましたが、なかなか好評です。このキャンプは小学校の4・5・6年生を対象にしたもので、RAC・IACの青少年をリーダーにして、リーダーとしての実地訓練をすることも目的です。ライラで研修を積んでもその後のフォロー

ができていませんでしたので、その意味もあります。

1991年8月10日～12日 大阪府立青少年野外活動センター（能勢町）

今年度は地区委員会がホストをいたしますが、来年度からはホストクラブを決めて、お世話をいただく予定です。

### 3. 近隣4地区青少年活動委員長会議

昨年8月に初めて委員長会議を開催しましたが、今後年1回委員長会議を開こうと申し合わせましたので、今年度は10月に開く予定です。

### 4. ライラマニュアルの改訂

第1版のストックがなくなりましたので、新しい資料を加えて改訂版を発行する予定です。

## ローターアクト委員会

委員長 目 幸 等 僊（大阪天満橋）

委員 北 方 龍 一（大阪西）

同 北 村 英 一（吹 田）

同 小 西 眞 明（寝 屋 川）

同 山 内 尚 隆（大阪北）

同 伊 藤 七 郎（大阪東）

I 各提唱クラブのご理解と協力により、19 RACは夫々内容、活動の充実発展もさること乍ら、地区内RACの交流親睦は一層活発化しているが、今期は新クラブ創設に協力し、20クラブ以上を目標とする。従って本委員会は新RAC捐唱に際しての援助は勿論、RAC奉仕活動の活性化に要求される会員増強と斬新なプログラムに積極的協力を惜しまない。

II 本年度の地区ターゲットはENJOY ROTARACT & IMPROVE YOURSELF !

「あなたにとって、ローターアクトって何ですか？」とし、従来のよき伝統と慣行を踏  
えつつ、新鮮な活動計画を推進するよう、公式ゾーン、合同各行事に積極参加を勧め、  
提唱クラブとの連繫をより密にして、RAC活動にロータリアンの参加を呼びかけ、親  
密感、信頼感を与えられるよう要請したい。

### Ⅲ 奉仕活動と会員増強計画は次の通りである。

- ① 地区米山奨学委員会、その他地区奉仕委員会に協力し、留学生との交流、協同奉仕  
活動に参加する。
- ② RAC未提唱クラブに提唱を要請（2RC共同で1RAC提唱も可）積極的に援助  
し、年度内に1～2RACを拡大したい。
- ③ 会員増強策として、RAC、RYLA参加者、特にロータリアン子弟、関係企業よ  
り優秀なメンバーを推薦派遣してもらおうと共に、RACの手引き、パンフレットを改  
訂し、未提唱クラブに効果的に配布宣伝する。
- ④ 特にガバナー公式訪問時に、第②③項に関し、10、20、30年記念事業として未提唱  
クラブに勸奨されるよう要請する。

### Ⅳ 本年度の海外研修は香港、シンガポールとし、彼我RACの円滑な精神的交流を意図 し、国際親善の実を挙げるためにもロータアン多数の参加を要請する。

#### 1991～'92年度 ローターアクト役員

地区代表	井 関 俊 幸 (大阪北)	地区会計	平 田 宴 子 (大阪)
	(RAC)		(RAC)
地区幹事	清 水 貴 子 (守口)	大阪ゾーン	岸 本 至 泰 (大阪南)
	(RAC)	代 理	(RAC)
地区副幹事	石 原 均 (大阪西南)	北大阪ゾーン	福 井 弘 高 (枚方)
	(RAC)	代 理	(RAC)

#### 地区RAC一覧表（ABC順）

北大阪ゾーン 枚方RAC、茨木RAC、池田RAC、守口RAC、  
（7クラブ） 寝屋川RAC、吹田RAC、高槻RAC

大阪ゾーン 東大阪RAC、大阪RAC、大阪東RAC、大阪平野RAC、  
 (12クラブ) 大阪北RAC、大阪南RAC、大阪西RAC、大阪西南RAC、  
 大阪住吉RAC、大阪天満橋RAC、大阪淀川RAC、  
 八尾東RAC

1991-'92年度 国際ロータリー第2660地区ローターアクト年間活動計画

開催日				行事	主催・ホスト
91年	7月	11日	木	前期提唱RAC ローターアクト正副委員長会議	地区
		28日	日	地区RAC 研修会 (リーダーシップフォーラム・新入オリエンテーション)	RAC
	8月	10日~12日	土~月	地区ニコニコキャンプ リーダー奉仕	地区・青少年活動 委員会
	9月	1日	日	第1回海外研修オリエンテーション (班会議)	地区
		8日	日	全国統一RACの日	RAC
		29日	日	第2回海外研修オリエンテーション (班会議)	地区
	10月	13日	日	第3回海外研修オリエンテーション (班会議)	地区
	11月	30日~4日	水~月	海外研修(シンガポール・香港)	地区
				米山奨学生学友会交流会	地区・米山奨学委員会
		17日	日	リーダーシップフォーラム	RAC
		23日	祝	身体障害者児童等招待奉仕	地区・社会奉仕 委員会
	12月	7日	土	海外研修解団式(記録提出)	地区
92年	1月	16日	木	後期提唱RCローターアクト正副委員長会議	地区
	2月	23日	日	RC・RACジョイントパーティー	RAC
	3月	14日・15日	土・日	アジア第1・3ゾーン年次研修会 全国地区ローターアクト委員長会議	第2670地区
	4月			第2660地区RI年次大会参加	地区
	5月	17日	日	第2660地区ローターアクト年次大会	大阪北RAC
	6月	14日	日	新旧理事役員会	RAC

地区ローターアクト委員会 随時、地区ローターアクト役員会 毎月1回、ゾーン別クラブ会長会 毎月1回

大阪ゾーン行事		北大阪ゾーン行事	
91. 9/29 (日)	ソフトボール大会	91. 12/ 8 (日)	クリスマスパーティー
92. 2/16 (日)	献血 PART 1	92. 4/12 (日)	スポーツ大会
92. 3/ 8 (日)	ウォークラリー		
92. 6/28 (日)	献血 PART 2		

# インターアクト委員会

委員長 和田 健 (大阪 阪南)

委員 飯原 弘章 (大阪 住吉)

同 中島 孝夫 (八尾)

同 得田 栄蔵 (大阪阿倍野)

同 岡部 州雅 (大阪城南)

同 小西 欣一 (大阪南)

- 1) 当委員会は、提唱9ロータリークラブの理解と協力を得て、加盟校顧問、インターアクターと協調し、本年度地区運営方針の「ロータリー活動の一層の活性化」を推進する。
- 2) 当年度の当番校、四天王寺学園中・高等学校(提唱:大阪阪南ロータリークラブ)が計画したテーマ「地球を考えよう」を各クラブの活動に取り入れる。
- 3) 海外研修は、現地インターアクターと交流し、相互理解を深める事を主目的とし、現地インターアクターと活動のありかたについてのフォーラムを訪問地区インターアクト委員会と共に計画する。  
(訪問地:シンガポール 4泊5日)
- 4) インターアクトクラブ未提唱のロータリークラブに設立を働きかける。学校単位のインターアクトクラブ提唱と共に、地域内でのロータリー手作りのインターアクトクラブ設立を推進する。

1991～'92年度 国際ロータリー第2660地区インターアクト委員会年間予定表

年 月 日	行 事	場 所	備 考
1991. 6. 4 (火)	提唱RC. I A正副委員長会議 (次年度計画発表)	天王寺都ホテル	PM 2:00～PM 4:00
6. 9 (日)	リーダーシップフォーラム (次年度計画発表)	四天王寺学園	PM 1:00～PM 5:00
6. 21 (金) 6. 24 (月)	海外研修下見及び現地打合せ	シンガポール	
7. 6 (土)	海外研修オリエンテーション	JTB大阪 渡航センター	PM 3:00～PM 5:00
7. 10 (水)	加盟校顧問会議	四天王寺学園	PM 5:00～PM 7:00
7. 20 (土)	海外研修オリエンテーション	JTB大阪 渡航センター	PM 1:00～PM 5:00
8. 23 (金) 8. 27 (火)	海外研修旅行	シンガポール	
9. 10 (火)	加盟校顧問会議 (海外研修反省会・年次大会準備)	四天王寺学園	PM 5:00～PM 7:00
10. 27 (日)	インターアクト地区年次大会	四天王寺学園	AM10:00～PM 5:00
1992. 1. 21 (火)	提唱RC. I A正副委員長会議 (前半活動報告・後半計画発表)	天王寺都ホテル	PM 2:00～PM 4:00
3. 6 (金)	加盟校顧問会議	四天王寺学園	PM 5:00～PM 7:00
3. 28 (土)	第2660地区年次大会	フェスティバルホール	
5.	新入生歓迎会	未 定	
5.	提唱RC. I A正副委員長会議 (後半活動報告・年間反省、提案)	天王寺都ホテル	PM 2:00～PM 4:00
6.	リーダーシップフォーラム (年間活動反省、提案)	四天王寺学園	PM 1:00～PM 4:00

I. インターアクトクラブの交流行事が予定以外に出来れば随時行ないます。

II. 第2660地区インターアクト委員会会合は、必要の都度開催致します。

# 国際奉仕部門

担当パスト・ガバナー 坂 東 宏(吹 田)

## 世界社会奉仕委員会

委員長 堀 内 顕 (八尾東)  
委員 西 原 漸 (高槻東)  
同 藤 井 宏 一 (大阪西北)  
同 吉 川 謹 司 (東大阪東)  
同 横 山 守 雄 (大阪中央)  
同<sup>(ガバナー)</sup><sub>(ミニ)</sub> 山 中 文 和 (大阪南)

### 方 針

世界社会奉仕(W.C.S.)は、現在の世界社会状況の中で、極めて重要かつ有意義なロータリーの奉仕と親善の活動である。

W.C.S.は、地区と地区、またはクラブとクラブとの協力によって進められていく、貧しい人々の生活の向上開発援助を主としながら救援する国境を越えた奉仕である。

顕著な実績を上げることによって、地区内ロータリアンの全員が充実感を持ってW.C.S.活動に参加できるように、情報の交換や協力を励まし、最も効果的な活動を実施するために努力する。

### 活 動 計 画

1. 全クラブ内に、世界社会奉仕委員会を設けるように励ます。
2. 全クラブが、W.C.S.活動を深く理解し、積極的に活動できる様に広報活動を行い、卓話などに奉仕する。
3. 地区またはクラブのW.C.S.プロジェクトの視察を実施して、実態調査を行ない、世界社会奉仕の意義と理解、親善交流を促進する。(特に1992年1月27日から東南アジアの視察旅行を計画中である。)

4. 緊急支援を必要とする重大な災害発生時には、地区、クラブが協力して募金を行ない、適切な救護活動に参加する。
5. 本年度、種々の事情から、単独プロジェクトを実施することが困難なクラブからは、一人当たり5,000円の拠出金を提供していただき、地区合同のプロジェクトを実施して、救援、開発援助の効果を上げる。

## 青少年交換委員会

委員長 八木 頼 夫 (大 阪)

委員 入 江 和 夫 (高 槻)

同 中 一 皓 (枚方くずは)

同 泉 潔 (豊中-大阪  
国際空港)

同 三 宅 一 嘉 (大阪 東南)

同 毛 利 哲 三 (大阪 西南)

同 村 上 白 士 (大阪 城北)

同 林 輝 久 (大 阪 東)

### I 主な年間活動

1. 交換学生派遣受け入れに関する接渉実務。
2. 派遣及び受け入れ交換学生オリエンテーション開催。
3. 交換学生歓送迎会。
4. ホストクラブ、ホストファミリーのオリエンテーション開催。
5. 来阪学生に就いてホストファミリーよりの率直的な意見の聴取。
6. 来日学生を囲む新年会をREX(OB)学生と共に開催し、来日学生の4ヶ月余の間における日本語能力向上度合を試聴する。
7. 派遣された日本人学生よりのアンケート調査(待遇及び小遣い等に就いて)。
8. 交換国へ派遣される日本人学生の為に、交換国地区委員長並びに其の関係者よりの

- アドバイスに就いてアンケート調査をする。
9. 来日学生が通学する高等学校選拓の検討を続行する。
  10. 来阪学生の感想文発行並びに学生受け入れ高校、ホストクラブ、ホストファミリーへの感謝状贈呈及び帰国学生への青少年交換留学ディプロマ授与。
  11. 広島研修旅行、禅寺一日研修等を計画。

## II 青少年交換計画と交換ファンド

青少年交換は、国際理解、国際親善、善意の交換を目標とした手造りの奉仕活動であると考えられる。従って関係者の苦勞と忍耐には心から感謝したい。

今年度(1991～1992年)と前年度(1990～1991年)の長期、短期交換の状況は別紙の通りである。

青少年交換は一般の学生のみならずロータリアンの子弟も参加出来るプログラムであり、ロータリアンによる多大の奉仕援助で成立するものであるから、ロータリアンの子弟の積極的な参加を求めたいと思う。

本年度より増額を頂いた結果、交換ファンドの為に地区の全員から年間3,000円の拠金を預き、それを交換計画実施経費として学生交換ホストクラブの援助費に当てる事とする(長期交換に対してのみ)。

レックス(交換学生OB・OG会)にその活動が機能を充実していくよう援助し、来日及び派遣交換学生のオリエンテーション等に際して、各自の体験を生かし具体的な交換生活を説明させる。またレックス学生には、ローターアクト、インターアクトに入るよう薦め、ロータリーとの縁が切れないようにしたい。

毎年度、新たに長期、短期青少年交換に参加するクラブを見出し、4～5年に一度は各クラブが青少年交換を実施されるよう求めたい。

## I] 長期派遣学生 (1990年~1991年)

No.	氏 名	性別	年齢	ホ ス ト R C	地区	国 名
	スポンサーRC			住 所		
1	野 村 敏 弘	男	16	Auckland City West	9910	ニュージーランド
	大 阪 港			〒569 高槻市南平台20-8		
2	森 良 平	男	16	Keizer	5100	U S A
	大 阪 北			〒666-01 川西市大和東2-25-11		
3	小 林 幸	女	15	Oakviue West	7080	カナダ
	枚方くずは			〒573-01 枚方市長尾台2-20-2		
4	三 宅 陽 子	女	16	Gouverneur	7040	カナダ
	大 阪 東 南			〒631 奈良市鳥見町1-8-22		
5	小 倉 直 人	男	17	Albert Lea	5950/60	U S A
	八 尾 中			〒581 八尾市本町7-15-1		
6	坂 本 武 士	男	16	Rock Falls	6420	U S A
	八 尾 東			〒581 八尾市小阪合町4-5-18		
7	西 澤 直 子	女	16	Caldwell	5400	U S A
	交 野			〒576 交野市私市山手4-3-2		
8	小 林 純 子	女	16	Mexico Missouri	6050	U S A
	堂 島			〒560 豊中市上野西3-16-18-205		
9	岡 本 由 子	女	17	Gue ph Classic	7080	カナダ
	大 阪			〒561 豊中市曾根西町4-18-19		

(注) 1、2の交換期間は1990年~1991年3月、他の者は1990年~1991年8月

## II] 長期受入学生 (1990年~1991年)

No.	氏 名	性別	年齢	スポンサーRC	地区	國国名
				ホ ス ト R C		
1	Elly Allisone Marie	女	17	Onehungar 大 阪 港	9910	ニュージーランド
2	Burlison Linda	女	18	Burlington Central 枚方くずは	7080	カナダ
3	Catton Scott Allan	男	16	South Salem 大 阪 北	5100	U S A
4	Hamilton Leah Marie	女	17	Forest Ontario 八 尾 東	6330	U S A
5	Garret Patrick Gilbert	男	18	Wehstek Croves 堂 島	6050	U S A
6	McConnel Coline Elizabeth	女	18	Nampa 高 槻	5400	U S A
7	Behrendt Niels Peter Rolf	男	18	Langerwehe 大 阪 東	1810	ド イ ツ
8	Curry Rebecca Michelle	女	19	Kerrville Texas 大 阪 西 南	5840	U S A
9	Salewski Jörn	男	17	Oldenburg-Ammerland 高 槻 西	1850	ド イ ツ
10	Clark A. Christopher	男	18	Northfield 八 尾 中	5950/5960	U S A

(注) 1の交換期間は1990年1月~1991年1月、8は1990年7月~1991年8月、他の者は1990年8月~1991年7月

## I] 長期派遣学生 (1991年~1992年)

No	氏 名	性別	年齢	ホ ス ト R C	地区	国 名
	スポンサーRC			住 所		
1	丸 尾 道 恵	女	16	Mount Albert	9910	ニュージーランド
	四 條 暁			〒575 四條暁市清滝中町19-28		
2	村 上 香 織	女	16	Lake Oswego	5100	U S A
	八 尾 中			〒581 八尾市太田5-187-5		
3	中 和 美	女	18	Wels-Burg	1910/1920	オーストリア
	枚 方 く ず は			〒576 交野市幾野3-2-12		
4	山 崎 博 美	女	17	Hameln	1800/1900/1990	ド イ ツ
	大 阪 東 南			〒545 大阪市阿倍野区阪南町2-19-10		
5	村 木 雅 則	男	17	Faribault	5950/5960	U S A
	吹 田 西			〒564 吹田市江の木町12-5-314		
6	和 三 正 秀	男	17	Heinsberg	1800/1900	ド イ ツ
	高 槻 西			〒569 高槻市城西町4-13		
7	川 口 亮	男	15	Kingston-Frontenac	7040	カ ナ ダ
	東 大 阪 東			〒579 東大阪市上石切町1-7-25 石切ランドハイツ105号		
8	表 愛 奈	女	15	Boerne	5840	U S A
	大 阪 北			〒665 宝塚市雲雀丘1-4-25		
9	廣 瀬 さや夏	女	16	San Saba	5840	U S A
	大 阪 西 南			〒558 大阪市住吉区長居東3-7-16		

(注) No. 1, 2 は、1991年3月~1992年3月  
No. 4~9 は、1991年3月~1992年8月

## II] 長期受入学生 (1991年~1992年)

No	氏 名	性別	年齢	スポンサーRC	地区	国 名
				ホ ス ト R C		
1	Gyotoku Lidia	女	18	Suzano-São Paulo 東 大 阪 東	4610	ブラジル
2	Hughes Travers Seymour	男	17	Auckland North Harbour 四 條 暁	9910	ニュージーランド
3	Allen Colby	男	18	Kerrville 大 阪 北	5840	U S A
4	Klind Jacqueline Lea	女	18	Payette Lakes, McCall 高 槻 西	5400	U S A
5	Pfirmsmann Marten Sylvester	男	16	Emmerich-Rees 大 阪 東 南	1870	ド イ ツ
6	Whalen Ryan	男	16	Keizer 八 尾 中	5100	U S A

7	Moniqui Marie Fleurette Karine	女	17	Valleyfield 大阪東南	7040	カナダ
8	Windhab Ralf	男	19	Wels-Burg 枚方くずは	1920	オーストリア
9	Lueck Jennifer	女	16	Knosha 吹田江坂	6270	USA
10	Bender Marie Tracey	女	16	Bender Marie Tracey 大阪	7080	カナダ
11	Gandrud Julia Helen	女	16	St. Louis Park 吹田西	5950/960	USA

(注) No.1, 2は、1991年1月～1992年1月  
No.3～11は、1991年8月～1992年7月

会員委員平・送学懇話会

III] 短期派遣学生 (1991年～1992年)

No	氏名 スポンサーRC	性別	年齢	ホストRC 住所	地区	国名 電話
1	松尾寛子	女	20	Finchley	1130	イギリス
	大阪北淀			〒532 大阪市淀川区十三東3-7-27		
2	西尾佳容	女	22	Ripley	1220	イギリス
	箕面			〒562 箕面市桜6-3-21		
3	鈴木英子	女	20	Pwllheli	1180	イギリス
	八尾中			〒560 豊中市緑丘3-20-5		
4	芦谷京子	女	19	Alsager	1050	イギリス
	守口			〒572 寝屋川市池田西町15-6		
5	折野奈緒子	女	19	Alsager	1050	イギリス
	枚方くずは			〒573 枚方市楠葉朝日2-13-6		
6	田島利江子	女	22	Audley	1210	イギリス
	大阪南			〒657 神戸市東灘区住吉町5-9-25		
7	金森由朗	男	18	Dingwall	1010	イギリス
	枚方くずは			〒573 枚方市渚元町10-20		
8	小杉世	女	21		1010/1290	イギリス
	豊中			〒666 川西市鼓ヶ滝1-13-33		

(注) 出発は何れも1991年7月

#### Ⅳ] 短期受入学生 (1991年～1992年)

No	氏 名	性別	年齢	スポンサーRC	地区	国 名
				ホストRC		
1	Ince Shaun	男	18	Dingwall 枚方くずは	1010	イギリス
2	Nayar Priti	女	18	Newcastle-under-Lyme 大阪阿倍野	1210	イギリス

(注) 受入は、1991年7月

### 国際交流・平和委員会

委員長	野村浩司(大阪港)
委員	松本一夫(大阪中央)
同	三好秀弘(八尾中)
同	加納繁美(大阪梅田)
同	小山雄三(大阪東)
同	玉井三貴男(大阪東淀)
同	鈴木幾太郎(大阪難波)

#### 1) オーランド国際大会

1991年～1992年の国際大会は、米国マイアミ州・オーランドで1992年6月13日～16日の4日間開催される事になった。すでにポスター・ステッカー等が送られて来ており大変積極的である。来年は湾岸戦争の影響も少なくなり、参加者も期待出来るのではないかと思うので、出来るだけ多くのロータリアンが当地区から参加すべくアピールを行う。

## 2) 姉妹クラブ

姉妹・友好クラブの交流も各クラブとも活発になって来ております。アンケートにより具体的な交流の動き、例えば姉妹クラブとの共同事業・国際会議・青少年交換等についての状況調査をし、一覧表を作成しガバナー月信に掲載をする。未だ友好・姉妹クラブのないクラブに積極的アピールを行う。

## 3) 友情交換

地区各委員長会議及ガバナー月信等を利用し、積極的に友情交換についてのアピールを行う。

## 4) 世界親睦

無線等の親睦から手がけて行う。

## 5) 平和委員会

本年は平和委員会が出来て3年目に入る。地区72クラブにおいて、1992年2月の世界理解月間中に、平和フォーラムの開催をお願いし、結果報告を3月20日までに回集する。

## 6) 伝達

当委員会についての通知・伝達事項及び国際大会等に関するニュースは、出来るだけ機会を通じてガバナー月信に掲載をする。

## ロータリー財団部門

担当パスト・ガバナー 古田 敬三(大阪)

### ロータリー財団委員会

委員長 古田 敬三(大阪)

委員 名張 隆政(吹田)

同 細江 重(大阪東淀)

同 田中 穰二(大阪西南)

同 仲 芳樹(吹田)

#### ロータリー財団委員会の責務

1. ロータリー財団の重要性をあらゆる機会を通じて地区ロータリアンに認識して貰うことにつとめる。
2. 地区ガバナーが地区内財団プログラムを推進するにつき、援助協力する。
3. 財団各小委員会活動の調節を図る。
4. ガバナーの決定した1991～'92年度一般寄付額の目標達成に協力する。
5. 財団の新しいシェア・システム実施予定について地区内各クラブに説明、今後の理解協力を求める。
6. 地区大会において表彰されるべきロータリー財団特別功労賞、ロータリー財団功労賞、ロータリー財団地区奉仕賞、各候補者をガバナーに推薦する。

# 財 団 奨 学 金 委 員 会

	委員長	名 張 隆 政 (吹 田)
	委員	大 川 進一郎 (大 東)
	同	塩 川 二 朗 (千 里)
	同	大 野 眞 義 (高 槻)
	同	西 原 明 (大阪心斎橋)
	同	泉 亮 (四 條 畷)
	同	山 村 幸 明 (吹 田 西)
	同	小 野 典 郎 (大阪阿倍野)
<b>本年度の活動計画</b>		
1. 1992～'93年度奨学金受領候補者の地区選考は、本年6月15日及び23日の二次にわたって実施されたが、各候補者について地区確認事項を記載した申請書を、7月末までに財団本部に送付予定。		
2. 財団本部より合格内示の送付あり次第(10月頃)、奨学生及び顧問ロータリアン合同の第1回オリエンテーションを開催し、来年3月第2回目として中間報告、5月に第3回目として壮行会を兼ねて開催の予定。またその機会に適当な講師を招き、文化、宗教、経済、マナー等のレクチャーを実施する。		
3. 本年12月21日の各クラブ財団委員長会議には、奨学生の現況、新年度募集要領を説明する予定。		
4. 1993～'94年度奨学金について、褒賞枠算出方針は従来通りとして、申請書受付、選考試験については、前年度と同様、クラブ受付締め切りを1992年4月下旬、ガバナ―事務所締め切りを5月中旬、選考試験は6月中に二次にわたって実施の予定。		
5. 本年度は現在のところ、受け入れ奨学生について、財団本部からの通知はない。		

本年度（1991年9月～'92年6月）留学予定者一覧

氏名	年齢	性別	スポンサー クラブ	顧問 ロータリアン	留学先	課程	留 学 校
三宅 葉子	21	女	千里	小泉 進	イギリス	A	バーミンガム大学
森田 直子	21	女	大阪天満橋	西海 栄悦	フランス	A	ポール・ヴァレリー大学
橋本 安央	23	男	枚 方	永井 岑一	アメリカ	A	ノースウェスタン大学
武林多寿子	24	女	守 口	深田 清一	ドイツ	A	エアランゲン・ニュルンベルク大学
喜住 明美	23	女	大阪南	山口 賢一	カナダ	A	マックギル大学
藤井 英次	27	男	東大阪西	村上 正治	アメリカ	A	モンタレー国際大学院
堀口 良一	30	男	大阪東淀	辻 秀哉	ベルギー	A	ブリュッセル自由大学
市原 美香	26	女	大阪鶴見	阿部成之助	イギリス	A	エセックス大学
田中 真理	22	女	豊 中	西山 敏之	アメリカ	A	カリフォルニア大学バークレー校
川北 健雄	30	男	大阪城南	萱沢 進作	アメリカ	A	コロンビア大学
山地 加恵	23	女	豊中 南	三田 裕	フランス	A	新ソルボンヌ大学 (パリ第3大学)
丸田 健	22	男	豊中一大阪 国際空港	小倉榮之助	イギリス	A	スワンジー大学
立石麻優里	21	女	高 槻	守 直文	アメリカ	A	プリンストン大学
山田 亜子	31	女	吹 田	佐藤 庄治	アメリカ	C	テキサス大学 ヘルスサイエンスセンター
滝本 将弘	28	男	大阪柏原	山本 光男	アメリカ	A	ハーバード大学
稲田せいか	25	女	大阪心斎橋	坂井 恒之	ペルー	A	ペルーカトリック大学
菊地 なお	22	女	高 槻 東	北浦 信之	イギリス	A	トロント大学
勝然 績雄	22	男	箕 面	西本 明文		B	申請中

## 財 団 増 進 委 員 会

吉 澤 中 田	中 田 大 東	委員長	田 中 穰 二 (大阪 西南)
東 大 陸 藤	西 田 功	委員	田 中 純 吉 (八 尾)
二 瀬 中 田	西 瀬 大	同	濱 田 新 (大阪うつぼ)
岡 本 本 藤	新 北 瀬 大	同	執 行 経 世 (枚 方)
掛 瀬 香 野	式 野 大	同	橋 本 孝 司 (大阪大手前)
藤 田 忠 義	吉 野 大	同	柳 澤 忠 麿 (大阪住之江)
美 青 藤 田 大	里 子 中 大	同	鷓 飼 大 策 (摂 津)
藤 田 新	藤 田 大	同	太 田 垣 貴 美 (豊 中 千 里)

### 活 動 方 針

- 1) ガバナーの方針にもとづき、地区ロータリー財団委員長のご指導の下、財団各委員会との連絡を密にしながら、ロータリー財団の意義や活動の重要性を一層PRすると共に、活発な財団プログラム推進のための金銭的支持の必要性について、ロータリアンの認識を喚起する。
- 2) 前年度に引き続き、無条件寄付の目標を一人当たり100ドル以上とし、その達成につとめる。
- 3) 「ロータリー財団は私たち自身のものである」という誇りと信念をロータリアン一人一人にもって頂けるよう努める。

### 活 動 計 画

- 1) 増進委員会を適時開催し、地区および各クラブの財団増強の成果の現況を調査検討すると共に、必要な情報を提供して増進を依頼する。
- 2) 11月のロータリー財団月間には、それにふさわしい行事を実施してロータリー財団活動の理解を深めていただくよう各クラブに要請する。
- 3) IGF組別に下記の如く担当委員を決め、財団の活動を報告し、ロータリアンの財団に対する理解と協力をはかる。

組	I G F開催日	ホストクラブ	担当委員
4	9月28日	東大阪中	田中純吉
2	10月12日	吹田西	鶴飼大策
5	10月26日	大阪西	田中穰二
6	11月30日	大阪北淀	橋本孝司
3	1月18日	枚方	執行経世
8	2月1日	大阪住吉	柳澤忠磨
1	2月15日	豊中千里	太田垣貴美
7	2月29日	大阪船場	濱田新

- 4) 各クラブに対してポールハリスフェロー、ポールハリス準フェローおよびマルチプル・ポールハリスフェローの増加をお願いすると共に、財団中央事務局のクラブ認証要約報告書がクラブの実態に合ったものとするための努力を要請する。

## 財 団 学 友 委 員 会

委員長 仲 芳 樹 (吹 田)

委員 中 田 康 仁 (大阪南)

同 大 井 勝 利 (東大阪西)

同 西 村 一 夫 (池 田)

同 杉 森 芳 雄 (東大阪東)

同 野 村 正 勝 (箕面中央)

### (1) P S C の 育 成

学友会にはいろいろの目的が設定されているが、当地区ではその意義を踏えて学友会有志によるP S C (Past Study Club) が結成されている。現在は元奨学生に

よって例会活動が進められているが、集いは限られた数である。4人で始ったR Iが百万人を超える盛況に達したのであるから、P S Cも根気よく育成していかなければならない。これは学友委員会の重要な使命と考える。

1990～'91年度P S Cの例会は田川委員長指導の下に 2. 4. 6. 11各月の第1金曜日に当てられ、極めてなごやかに続けられたが、更にその発展を期するものである。財団奨学生として選ばれた人達は、その出会いを大切に、同期生としての意識を高めるためにも、例会に出席し、先ず集ることの意味を確認しなければならない。そこに親密性が生れ、学友会活動の芽が育つというものであろう。ロータリーの精神からして、謝恩を強要するものではないが、数年間は出席の義務付けも考慮に入れるべきであると考ええる。「P S Cだより」の発行は意義あるものと考えるから、一層の助成につとめたい。

( 情 報 ) 講 文 中 山

## (2) 学友会名簿の整備

これはロータリー財団として重要事項と考える。最近の名簿によっても十数名の現況不明者がある。顧問ロータリアンとその所属クラブの協力を得て追跡調査を実施したい。なお会員には現況報告の義務を機会ある毎に徹底したい。

## (3) そ の 他

奨学生のオリエンテーションや卓話の要請に応えられるよう準備しなければならない。ガバナー提唱による卓話銀行設置には積極的に協力する考えである。

以上委員各位に所見を交え、願望を述べ、活動計画に資したいのであるが、学友会活動を推進し、活発化させるためにも、自分を越えた眼を開くことが先決であると考ええる。

## 研究グループ 交換委員会

委員長 細 江 重 (大阪東淀)

委 員 木 村 英 一 (大阪住吉)

同 村 上 實 (池 田)

同 木 川 稔 (撰 津)

同 増 田 鼎 (八 尾)

同 東 平 介 (寝 屋 川)

同 大 内 昭 男 (大阪鶴見)

同 竹 島 朗 (大阪東淀)

同<sup>(ガバナー)</sup><sub>(ミニ)</sub> 山 中 文 和 (大阪南)

### 方 針

1. 前年度派遣団 (769 D、米国ノースカロライナ) の報告書作製。
2. 7690 D、米国ノースカロライナからの受入れ実施。(1992年3月年次大会を含め5週間の予定)。受入れ計画の決定、各ブロック別実行委員会の任命設置、プログラム作製、7690 Dとの連絡等、前年度の派遣団員も参加し活動する。
3. 次年度の組合せ (5650 D、米国ネブラスカ) との実施調整。(交換について両地区は合意に達しているが、1992～'93に派遣、1993～'94に受入の希望について細部の調整を行う。)

### 計 画

1991年

- 7月 第1回委員会(活動計画方針大綱、各ブロック実行委員会の任命並びに設置。)
- 8月 第1回ブロック別実行委員会。
- 9月 第2回委員会(受入れ計画立案、次年度の組合せ計画。)  
第2回実行委員会(受入れ計画伝達、各ブロック計画の調整。)
- 10月 第3回実行委員会(受入れ計画細部作製。)

11月 第3回委員会（次年度ネブラスカとの交換計画決定。ノースカロライナからの受入れ計画決定。プログラム作製印刷。）

12月 第4回委員会（ネブラスカとの組合せ申請書完成発送。）（受入プログラムに基づく細部調整。）

1992年

1月 第5回委員会（ネブラスカ派遣団員募集。ノースカロライナ受入細部決定。）

2月 第6回委員会（派遣団員選考。受入れ最終打合せ。）

3月 7690 D、ノースカロライナ G S E 団員受入れ。（期間5週間、ロータリアン1名、団員5名。）

4月 第7回委員会（ネブラスカ派遣団計画決定。ノースカロライナから受入れの結果の反省及び事後処理業務。）

5月 第8回委員会（派遣計画の推進調整、相手方連絡調整。）

# 米 山 奨 学 部 門

担当パスト・ガバナー 武 尾 敬之助 (大阪西北)

## 米 山 奨 学 委 員 会

委員長	永 野 啓之介 (豊中-大阪) 国際空港
委員	渡 辺 斌 (東大阪中)
同	井 上 幾 夫 (大阪淀川)
同	宮 田 純 夫 (箕 面)
同	菅 晃 生 (大阪うつぼ)
同	増 本 猛 (茨 木 東)
同	崎 山 耕 作 (大阪住吉)
同	平 岡 龍 人 (大 阪)
同	板 垣 周 男 (豊中-大阪) 国際空港

### I. 募 金 目 標

- ・一人当り 1万8千円
- ・地区総額 9千万円程度

#### (1) 普通 寄 附

各クラブ会員一人当り、4千円以上をお願いする。

#### (2) 特別 寄 附

出来るだけ会員全員に準功労者になって頂くようお願いする。

### II. 奨 学 生 選 考 に つ い て

申し込み受付期間：10月1日～15日

専門委員を交えた選考委員会を結成、10月～2月に選考会を随時開催。(12月上旬書類選考会・2月7日～20日面接試験を行う)

### Ⅲ. 諸行事日程

- 全国地区委員長会議（東京）（9月2日）
- クラブ委員長会議 於：葉業年金会館（9月4日）
- 報道関係幹部との懇談に参加（8月9日）…地区広報雑誌委員会主催
- R Y L A 参加（9月・5月）…地区青少年活動委員会主催
- 米山奨学生レクリエーション（11月）
- 身障児等白浜招待旅行に米山奨学生もボランティアとして参加することを推奨する。  
…地区社会奉仕委員会主催…
- 米山学友会（関西）交流会
- 奨学生終了者歓送会（1992年3月）
- オリエンテーション（1992年3月）
- 米山学友会

### Ⅳ. 米 山 月 間

クラブから依頼があれば、地区委員・奨学生・学友会委員等により卓話を行い、米山奨学事業への理解と協力をお願いします。

### Ⅴ. 米山学友会（関西）への援助

学友会より活動援助の要請があったので援助金を出すとともに、学友会活動へも積極的に参加し、交流を深める。

### Ⅵ. 1991 学年度米山奨学生（1991年4月～1992年3月）

継 続 受 給 者	8 名
新 規 奨 学 生	2 4 名
（内Dis Y-B奨学生	4 名）
C Y 奨 学 生	3 名
<hr/>	
	3 5 名

奨学生には、米山に関連する諸会合に極力出席させ、ロータリアンとの交流をはかる。

## Ⅶ. 本年度の重要活動方針

米山記念奨学会の目的は、我が国における外国人留学生に奨学金を支給して、それらの国々の人作りに協力することにより、その平和的発展に貢献することにあります。また単に経済的援助を与えるだけでなく、R・C・を世話クラブとし、カウンセラーを委嘱し、更にはこの活動を通じて国際交流、国際理解の増進に寄与しようとしています。

ところが、現在の奨学生の選考は、既に日本に來ている奨学生の中から選ぶことになっていますので、優秀ではあるが、経済的理由から日本に來られない学生の援助には手をさしのべておりません。

米山奨学会が最初出來ましたとき、第1回の奨学生は現地選考でスタート致しました歴史があります。そこで、もう一度、発足当時の原点にもどって、一部は現地選考をすることにより、本来の奨学制度の意義を実現したいと思います。またこの現地選考の活動を通じて、国際交流、国際理解の実が大いにあがると期待しています。

これが実現のためには、その意義について、クラブ会員の理解とその推進を通じて、米山記念奨学会への働きかけに努力致したいと考えます。

# 拡 大 部 門

担当パスト・ガバナー 坂 東 宏 (吹田)

アドバイザー 村 岡 秀 雄 (大 阪 東)

## 拡 大 委 員 会

委 員 長 古 市 実 (大 阪 北)

カウンスラー 池 田 幹 雄 (大 阪 南)

同 水 間 義 雄 (城 東)

委 員 浜 岡 正 典 (大 阪 西 南)

同 小 西 豊 和 (守 口)

同 川 崎 寿 (大 阪 中 央)

同 浅 井 晴 雄 (大 阪 大 淀)

同 杉 本 一 三 (八 尾)

### 1. ガバナー方針の確認

菅生ガバナーは本年度新しく2RCの創設を目標とした拡大方針を示された。

2. 委員会としては、昨年度廣瀬直前ガバナーが推進しておられた大阪大淀RCによる新設クラブの設立に第一目標をおき努力する。

3. 第二目標として、既に拡大委員会が設立されている大阪北RCによる新設クラブの結成を推進する。

4. 第三目標として、大阪府下または大阪市南部地域における新設クラブの可能性につき検討する。

# ロータリーの友

地区委員 藤木 厚(豊 中)

## I. 「ロータリーの友」委員会

ロータリーの友委員会は原則として奇数月の第1月曜日に開催し、当日休日に当る場合は第2月曜日に変更します。今年度第1回委員会は7月1日東京プリンスホテルにて開催し、新年度の諸事項を検討し、併せて運営の方針を決定いたします。その後、新旧委員合同会議及び懇親会を行います。

## II. 「ロータリーの友」への出稿

地区委員として「地区の概況」「地区のたより」「わがまち・わが地区」のページの編集を担当します。

1. 地区の概況 1991年7月号
2. 地区のたより 1992年4月号(1992年4月号 1992年1月20日締切)
3. わがまち・わが地区  
1991年10月号(8月20日締切)  
1992年5月号(3月20日締切)

## III. 活動方針

菅生ガバナーの方針はR I会長ラジェンドラ・K・サブー氏の本年度のテーマ「自分を超えた眼を」を踏まえ、地区に於けるロータリー活動の一層の活性化を計ることを述べておられる。我々ロータリーの友委員は、この件を受けて地区広報雑誌委員長・クラブ雑誌委員長の協力を得て、会員諸君が興味をもって読む「ロータリーの友」となるよう会員の投稿をお願いします。



## 財 務 委 員 会

委員長 西 田 文 明 (大阪北)

委員 山 本 守 昭 (大阪西南)

同 国 分 紀 一 (大阪南)

会計 栞 田 圭 兒 (大阪北)

1. 1991～'92年度の収支予算は、収入（前期繰越金を含む）9,600万円、前年度より800万円（9.1%）の増加と控え目に計上した。支出については、各委員会の要求について充分考慮し、またガバナーの方針に基づき「ビデオ・スライド銀行」「卓話銀行」等の新企画についても予算化したが、全体的には8,851万9千円と前年度比10.5%の増加とした。

### 2. 収 入

- (1) 前期繰越金については、前年度より500万円増の1,500万円と控え目に計上した。
- (2) 地区資金についても、過去5年間のデータに基づき、年度平均200名の会員増加を見込み5,300名、前年度比300万円の増加とした。

### 3. 支 出

- (1) 前年度予算及び実績並びに本年度事業計画を参考とし、一部の委員会について増額をした。
- (2) 広報雑誌委員会  
「ビデオ・スライド銀行」の製作費を含めて、本年度は350万円を計上、前年度比300万円の増額とした。

(3) 規定情報委員会

「卓話銀行」卓話候補者名簿の作成費を含めて、本年度は70万円を計上、前年度比18万円の増額とした。

(4) 職業奉仕委員会

違法駐車問題の積極的推進に必要な活動費として、本年度は40万円を計上、前年度比23万円の増額。

(5) 社会奉仕委員会

「地域対策室」の設置にともない本年度は70万円を計上、前年度比20万円の増額。

(6) 研究グループ交換委員会

前年度は米国ノースカロライナ州に派遣したが、本年度は受け入れ年度に当り、なおかつ昨年度派遣団の報告書作成費、翌年度派遣団員の選考費等を含め、600万円を計上、前年度より250万の増額とした。

(7) 会議費は、前年度比30万円の増加。

(8) ガバナー事務所経費については、前年度比95万円9千円(4.0%)の増加であるが、主に人件費と借室料の上昇である。

4. 以上種々の角度より検討し本年度予算を作成しましたが、各委員会におかれましても、予算内の執行にご協力を賜りたく、お願いを申し上げる次第であります。

# 地 区 大 会

委員 長 鴻 池 藤 一  
プログラム  
委員 長 小 林 公 平  
幹 事 桐 山 輝 彦

- (1) 平成3年々初より、ガバナーが提示された基本方針に基づき、地区大会実行委員会で全体構想を練ってまいりました。

当年度に入り、実行委員会を中心に、さらに細部にわたり検討し、実行に入る予定です。

- (2) 地区大会の日程及び開催場所

平成4年(1992年)3月27日(金) ロイヤルホテル

会長・幹事懇談会

部門別懇談会

R I 会長代理歓迎晩饗会

夫人のつどい

平成4年(1992年)3月28日(土) フェスティバルホール

本 会 議

- (3) 地区大会の行事内容等につきましては、ガバナー月信にて逐次お知らせいたします。

過去の当地区並びに他地区の大会運営を参考にし、ガバナーの基本方針にそい、厳粛かつ楽しく、参加者の心に残る大会にいたしたいと準備を進めています。

- (4) 地区大会事務局 9月1日に開設予定

〒530 大阪市北区角田町8-7 (株)阪急百貨店8階

大阪北ロータリークラブ事務局(☎06-361-2681)内

大会事務局専用電話並びにFAX番号は、決定次第、ガバナー月信でお知らせいたします。

1991～1992年度 国際ロータリー第2660地区

収 支 予 算 書

作成 1991年3月31日

承認 1991年5月18日

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算
前 期 繰 越 金	15,000,000	10,000,000
R. I. 交 付 金	800,000	800,000
地区資金 (15,000円×5,300人)	79,500,000	76,500,000
雑 収 入	700,000	700,000
合 計	96,000,000	88,000,000

ガバナー 菅 生 浩 三  
 財務委員長 西 田 文 明  
 会 計 栞 田 圭 兒

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	
地区ガバナー指名委員会	200,000	200,000	
意義ある業績賞委員会	50,000	50,000	
クラブ奉仕部門	会員増強委員会	200,000	190,000
	広報雑誌委員会	3,500,000	500,000
	規定情報委員会	700,000	520,000
職業奉仕部門	職業奉仕委員会	400,000	170,000
	社会奉仕委員会	700,000	500,000
社会奉仕部門	ボランティア活動委員会	150,000	150,000
	環境保全委員会	250,000	200,000
	緑化推進委員会	0	250,000
青少年奉仕部門	青少年活動委員会	2,600,000	2,600,000
	インターアクト委員会	2,800,000	2,800,000
	ローターアクト委員会	5,400,000	5,400,000
国際奉仕部門	世界社会奉仕委員会	200,000	170,000
	青少年交換委員会	500,000	500,000
	国際交流・平和委員会	250,000	250,000
ロータリー財団部門	ロータリー財団委員会	100,000	100,000
	財団奨学金委員会	1,500,000	1,350,000
	研究グループ交換委員会	6,000,000	3,500,000
	財団増進委員会	240,000	240,000
	財団学友委員会	400,000	400,000
米山奨学部門	米山奨学委員会	500,000	500,000
拡大部門	拡大委員会	150,000	150,000
委員会活動費予備費	900,000	650,000	
計	27,690,000	21,340,000	
地区大会補助	地区大会補助	310,000	310,000
	地区協議会補助	310,000	310,000
	地区委員会	3,100,000	3,000,000
	ガバナー打合せ会議費	2,100,000	1,900,000
	R. I. 会長記念品代	160,000	160,000
	R. I. 会長歓迎費	370,000	370,000
	直前ガバナー記念品代	260,000	260,000
	ガバナーノミニー国際会議参加補助	830,000	830,000
	予備費	800,000	800,000
	計	8,240,000	7,940,000
日本国内地区ガバナー会…(200円×5,300人)	1,060,000	1,020,000	
ロータリー文庫協力費…(200円×5,300人)	1,060,000	1,020,000	
地区大会分担金…(3,000円×5,300人)	15,900,000	15,300,000	
ガバナー月信印刷費	製版・印刷・送料・ホルター	9,400,000	9,300,000
	予備費	300,000	300,000
計	9,700,000	9,600,000	
ガバナー事務所経費	24,869,000	23,910,000	
合 計	88,519,000	80,130,000	
次 年 度 繰 越 金	7,481,000	7,870,000	

	'91年12月末	'91年2月末
クラブ数	72	71
会員数	5,300(予)	5,194

(単位：円)

ガバナー事務所経費内訳		
科 目	予 算 額	前年度予算額
借室料・光熱費	4,429,000	4,250,000
賃 金 給 料	11,400,000	10,800,000
ガバナー交通通信費	1,240,000	1,240,000
印 刷 費	1,650,000	1,550,000
交 通 通 信 費	2,300,000	2,300,000
文 献 費	150,000	150,000
事務用消耗品費	1,000,000	1,000,000
什器備品費	500,000	420,000
雑 費	1,700,000	1,700,000
予 備 費	500,000	500,000
合 計	24,869,000	23,910,000





